

外国語科学習指導案

高等学校

指導者

- 1 履修単位数 3 単位
- 2 実施日時 令和6年10月 日 () 第 時限
- 3 学 級 HR (名)
- 4 使用教科書 POWER ON English Communication I (東京書籍)
- 5 単 元 名 Lesson 6 Patterns in Human Behavior

6 本単元で扱う領域における「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標 (1 年次)

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
日常的な話題や社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、話された文章を聞いて必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、書かれた文章から、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを単文で話して伝え合うやり取りを続けたり、単文で論理性に注意して話して伝え合ったりできる。	日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で論理性に注意して話して伝えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

7 単元設定の理由

○教材観

本単元は、人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について取り上げている。必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する話題や行動をコントロールする方法について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えることができる内容となっている。It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V [be 動詞以外] +C、S+V+O+C [形容詞] の表現を用いる力も養うことができると考える。

○生徒観

本学級の生徒は、音読などの音声活動を好む傾向にあり、指示通りに行う反復活動やペアワークなどの活動にも大変前向きである。しかし、情報や自分の考えをやり取りする力は少しずつ身に付いてきてはいるものの、それを整理して伝えたり、やり取りを続けたりすることに苦手意識を感じている。本単元では自分の考えを理由とともに伝え合い、やり取りする力を養いたい。

○指導観

本単元は、人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を取り扱い、生徒は実体験からも理解しやすい題材となっている。そこで言語活動として、人間の行動パターンに関するものをさらに提示し、「話すこと[やり取り]」に焦点を当てた指導を行うことで、日常で感じている自分の考え、気持ちなどを根拠とともに伝え合ったり、発表したりする力を養いたい。単元末に行う予定のパフォーマンステストに向けて「話すこと[やり取り]」の活動を繰り返し行い、「話すこと[やり取り]」に必要な力を付ける指導を行う。

8 単元の目標

人間の行動に関する心理学実験の手順や結果について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉え、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを論理性に注意して伝え合うことができる。

9 単元の評価規準（「話すこと[やり取り]」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V[be 動詞以外]+C、S+V+O+C[形容詞]を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〈技能〉 人間の行動をコントロールする方法について、It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V[be 動詞以外]+C、S+V+O+C[形容詞]などの基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えを整理し、話して伝え合うやり取りを身に付けている。	人間の行動に関する話題についての友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、人間の行動をコントロールする方法などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、話して伝え合うやり取りを続けている。	人間の行動に関する話題についての友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、人間の行動をコントロールする方法などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、話して伝え合うやり取りを続けようとしている。

10 指導と評価の計画（ 7 時間）

時間	ねらい（■）、言語活動等（丸数字）	評 価			備 考
		知	思	態	
1	■単元の目標を理解する。 ■人間の行動パターンに関する写真を見て場面を推測し、その考えを共有する。 ①財布を落としたとき、何が入っていれば手元に帰ってくるかという実験について答えを推測し、結果から人間の心理を考え、伝え合う。				・単元を通して学習の振り返りを適宜行わせる。
2 { 4	■人間の行動パターンに関する3つの実験の説明文を読み理解する。 ■It+be 動詞+形容詞+that 節、S+V[be 動詞以外]+C、S+V+O+C[形容詞]などの基本的な語句や文を用いて表現する。 ①人間の行動パターンに関する3つの実験について結果を推測したり、その理由や自分の考えなどを整理し、ペアで共有したりする。 ②共有した内容について、お互いに質問したり考えたりする。	状況を見届けて指導に生かすことは毎時行なう。 一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の			
5	■本単元で学習した語句や表現を復習する。 ①新しい学習内容を用いて、相手の気分や様子について伺うペアワークをする。				
6 { 7	■人間の行動パターンに関する実験に関連したモデルスピーチを聞いて内容を理解し、表現を確認する。 ①教師や ALT による、買い物しすぎる行動を防ぐにはどうすればいいのかという問いに対する意見を聞いて、内容を確認する。 ②①の内容に関する自分の意見をまとめる。 ③②でまとめた意見を元に、買いすぎを防ぐにはどうすればいいのか、ペアでやり取りをする。				・本単元の評価基準に照らして観察し、本単元で学習した語句や表現の活用、説明文を読み取る方法について適宜確認をし、フィードバックを行う。
後日	パフォーマンステスト 買い物のしすぎを防ぐためのやり取りを行うとともに ALT からの質問を一つ受けて即興で答える。	○	○	○	
	ペーパーテスト	○	○		

1 1 本時の活動（第1時）

（1）目標

身近にある物を通して人間の行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる。

（2）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
5分	1 挨拶をし、既習単語の復習をする。	・Quizizz とタブレットが正常に動いているか確認する。		
1分	2 本時の目標について知る。	・本時の活動に取り組みやすい雰囲気を作る。		
To know about patterns in human behavior and share your ideas on the given questions.				
8分	3 ドーナツ、クッキーの写真を見て質問に答える。	・パワーポイントで扉ページの写真と質問を提示し、簡単な英語で答えるように指示する。また隣の生徒と相談していいことを伝える。		
10分	4 大切な物を落とした経験についての質問の答えを考えてメモを取り、グループでやり取りする。	・MetaMoJi にメモをとるように促す。 ・落とし物に関する質問をする。 ・記入が進んでいるかモニタリングする。 ・意見交換に使える表現を提示・配布し、参考にするように助言する。 ・答えを確認する。		
8分	5 実験に出てくる単語について知る。 財布を落としたらどうなるかを考え、グループ内で意見や気持ちを伝え合う。	・実験のキーワードの説明をする。 ・財布を落としたらどうなるか質問し、MetaMoJi に答えを書かせる。		

一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、狙いに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは行う。

10 分	6 写真を見て 1 枚選び、理由を考える。 グループ内で理由や意見を伝え合う。 写真に投票する。 アンケート結果を本文で確認する。	・Part1 の写真を提示し、財布の中に入れるべき 1 枚を選ばせ、その理由を考えさせる。 ・グループ内で意見を交換させる。 ・選んだ写真に投票させる。 ・本文を聞かせてアンケート結果を聞き取らせる。		
3 分	7 本時のまとめを行う。	・本時のまとめを行い、アンケート結果から理由の推察ができる見通しが持てるようにする。		

(3) 評価及び指導の例（「話すこと [やり取り]」）

「十分満足できる」と判断される状況 (a)	自分のアイデアや人間の行動に関する話題について、情報や自分の考えを理由や根拠とともに整理し、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。
「おおむね満足できる」状況 (b) を実現するための具体的な指導	自分のアイデアや人間の行動に関する話題について、情報や自分の考えを理由や根拠とともに整理し、論理性に注意して話して伝え合うことができるように支援する。
「努力を要する」状況 (c) と判断した生徒への事後指導	自分のアイデアや人間の行動に関する話題について、情報や自分の考えを整理し、論理性に注意して話して伝え合うことができるように、基本的な表現を確認し、「おおむね満足できる」状況 (b) を達成できるようにする。